

工作会 活動記録 報告書

報告者 吉田小恵子

行事名	工作会研修 竹工作・竹へビ 担当 1 班
実施日時	2020年2月19日(水) 9:30~15:00
場所	売布ぷらごこむ2階21会議室
参加人員	一般:無し MNC 会員 40名
参加者氏名	専任幹事 大地 (敬) 1 班 宮川、松田(輝)、橘、木茂、吉田、中村 (幸)、荒井、平山、村上、溝部、澤井、藤原 (泰) (12名) 2 班 松田 (秀)、今西、松生、小童、多田、田中、小林、高橋 (博)、森本、西岡、竹内、小山、木村 (良) (13名) 3 班 軸屋、永田、飯盛、詠田、沼田、青山、中尾、西島、新宅、石原、藤野、上條、仲谷、石堂 (14名)
報告事項	<p>今月は竹工作でした。へビのおもちゃは1月も牛乳パックで作ったのですが、今回は竹で作る、昔懐かしい伝統玩具です。うまくできれば、くねくねと動きます。</p> <p>まず、すでに配布されていた図面を見ながら、篠ダケか真竹を頭と胴体4つ、しっぽの6部品に切り分けます。続いて、頭の一端を切り取って口を表します。あとは、頭、胴体、しっぽを接続するのですが、ここで、各部品の端を斜めに切り取ります。斜めに切り取った先端に径1mmの穴をあけ、針金を通して接続するので、斜め切りがうまくできないと、針金がまっすぐ通りません。接続が不備だと、くねくねがうまくいかない。この斜め切りで苦労された方が多かったと思います。</p> <p>径1mmの穴は、電動ドリルでベテランの方が、斜め切りの終わったものから、どんどんあけてくれました。時間内で仕上がったのは、このおかげだと思います。電動ドリルで穴をあけてくださった方々に改めて感謝します。</p> <p>このあと、希望者はしっぽの部分を笛にしました。これがなかなかうまくいかず、苦労していましたが、ピーピー鳴らして楽しむ人もいました。</p> <p>くねくね動くまで、あるいは笛を仕込むまでで、ほぼ午前中が終わりました。午後は、完成した人は色を塗りました。各自、マジックやポスカを使って好きな色で、好きな模様を描き、唯一無二の作品に仕上げました。黒竹を使った人や、竹という素材の良さを生かしたいと、あえて色を塗らなかった人もいました。</p> <p>完成品を並べてみると、なかなかの光景で、みなさん満足だったと思います。</p>
連絡事項	3月は、「木の実や小枝を使った工作」(バスに乗って森に出かけよう)です。担当は2班です。また、しばらくなかった、ファミリー自然観察会が3月15日にあります。(担当2班) コロナウィルスが今後どうなるかわかりませんが、みなさん、健康に留意して3月楽しみましょう。

<制作風景>



うまいったかな？



しっぽに笛をしこみます



ただいま色塗り中



仕上がりました

<作品完成>



やっぱりちょっと不気味！

